

スマートフォンでバスの路線案内まで検索できる「信州ナビ」の事例を紹介し、情報技術を駆使した利用者の利便性向上策を提言。



発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町 800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com

<http://www.ccrgoto.com/>
<http://www.eaglesgoto.com/>(スマートフォン用)

-CONTENTS<9月25日 本会議一般質問>-

- I 公共交通再生～「5つの公共交通軸」を提唱～
 - II 山村地域再生～「移住 1 % 戦略」を群馬で～
 - III コンベンション施設計画～知事、「建設費増額しない」と明言～



長野県交通政策課を訪問調査

「5つの公共交通軸」を提唱

公共交通再生

「5つの公共交通軸」を提唱

バス路線をスマホで検索する時代

依存しない「まちづくり」へ転換することですが、それは中長期的な視野を持つて取り組まなければなりません。

一方、短期的な視点での施策として、公共交通の利便性を高めて、県民の目を公共交通に向けさせることが重要です。

後藤は、本会議において、長野県の「信州ナビ」の取り組みを紹介（上写真）。



山村地域再生 「移住1%戦略」

近年、首都圏の若者を中心に、「地方移住」の流れが強まっています。H26年度の農業白書では、都市住民の3割強、20代の若者に至っては5割弱が農村に定住したいという意向があるという調査結果を示しています。

自治会レベルの人口動態を分析し、
人口ビジョンを自ら作成し、その有効性を訴える。

H26年度移住者数トップ5

- | | | |
|---|-----|--------|
| ① | 岡山県 | 1,737人 |
| ② | 鳥取県 | 1,246人 |
| ③ | 長野県 | 953人 |
| ④ | 島根県 | 873人 |
| ⑤ | 岐阜県 | 782人 |

(参考)⑯群馬県 135人

多くの過疎・山村地域を抱える地域に移住者が集中している。

後藤は、高崎のある人口2千人の農村地域を自ら分析し、「移住1%戦略」を作成。そして、地域の区長等に呼びかけて学習会を開催しました。2千人の1%、つまり毎年20人移住というリアリティのある目標値であることから、参加者からも具体的な意見が多く出されました。

この経験をもとに、群馬県でも地域レベルで「移住1%」戦略を作れるよう、シンクタンク的な役割を果たすべきと提言しました

れました。ここで注目すべき点は、移住が集中しているのは、山陰地方と中部地方という、多くの過疎・山村地域を抱える県であるということです（別表）。

これらの県では、地方創生などと呼ばれる遙か以前から危機感を持つて移住促進に取り組んできたことが実を結んでい

また、明治大学・NHK・毎日新聞の共同調査において、H26年度の地方移住者が数が1万人を超えたことが大きく報道されました。ここで注目すべき点は、移住が集中しているのは、山陰地方と中部地方

島根発「移住1%戦略」を実践

今後もこれら的重要な答弁が反故にされないよう、引き続きチエツクしていく所存です。



県民にこれ以上の財政負担を強いないよう、知事に迫る。

しかし、そのような指摘を顧みず知事が建設を急ぐ以上、後藤は知事に対し、「この時期でも大丈夫と判断しているな」と迫る。しかし、そのようにしてやられ、需要等に大脇らることは珍しくありませんでした。より建設コストが高騰しているこの時期を避けるべきと再三指摘してきました。



後藤は「收支は1億円の黒字」と胸を張る。大澤知事は対して、「新潟県のような補助金を出すことはあり得ないことを知事に再三に渡つて迫り、「補助金は作らない」と明言する答弁を得ています。今回、もう一つの懸念として、公共事業は「小さく産んで大きく育てる」と言われるように、当初の設計金額の1・5倍くらいに建設費が膨らむことは珍しくありません。また、今オナリノノツク需要等で

高崎競馬場跡地のコンベンション施設建設設計画に対し、これまでリベラル群馬は、①県民理解が進んでない。②建設コストが高騰している。といった理由から建設を急がず慎重に計画を検討すべきと主張してきました。

しかし、議会の多数派が推進の立場を取る中、今年度中に着工という段階となつたことから、これ以上の財政負担を県民に強いさせないよう歯止めをかけるという視点からチェックをしています。

後藤が懸念する点の一つは、計画どおりの稼働率にならない場合に、補助金を出して無理やり利用者を増やすという「禁じ手」を使うことです。現に新潟県では、朱鷺メッセの利用者に最大1千万円超の

コンベンション施設計画

（知事、「建設費増額しない」と明言（



上豊岡町北交差点西側、市道から406号への安全な出入りのための路面標示などを実施。



| 前橋安中富岡線沿線の冠水対策として、水路の改修を実施。

地域活動 報告

地域の声と共に、安心安全な
環境づくりに努めています。